

地域に寄り添い、つながりを支える

養老町民生児童委員協議会

養老町民生児童委員協議会では、地域住民の身近な相談相手として、高齢者や子ども、子育て世帯など、さまざまな立場の方々に寄り添った活動を行っています。

「地域のつなぎ役」として、日頃から住民に寄り添い、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。

また、養老町社会福祉協議会が実施する友愛訪問事業や見守りサービス事業、心配ごと相談事業、福祉資金相談事業にも協力し、地域福祉を支える一員として活動しました。地域住民にとって身近な存在だからこそ、気軽に相談できる関係づくりを大切にしています。

ひとり暮らし高齢者への支援

長年にわたり継続している高齢者世帯や寝たきり高齢者への巡回訪問、相談支援について、令和7年度も、引き続き実施しました。特に、ひとり暮らし高齢者への見守り活動では、相談しやすい関係づくりを心掛け、地域の身近な相談相手になりました。日常の何気ない会話の中で、体調や生活の様子をつかがいながら、不安や困りごとの

早期発見に努めました。

訪問を重ねる中で、「話を聞いてもらえるだけで安心する」「また来てね」といった温かい言葉をいただくこともありました。継続した関わりによって信頼関係が深まり、気軽に相談できる環境づくりにつながったことを実感しています。また、支援が必要な方を早期に把握し、関係機関につなぐことで、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援することができました。

研修会等で学びを深める

近年は、特殊詐欺の被害や自然災害への備え、子どもや家庭を取り巻く課題など、地域福祉を取り巻く環境が大きく変化しています。そのため、研修会や視察研修、ブロック会議に参加し、知識を深めるとともに、委員同士で情報交換を行いながら活動に生かしています。

防災研修では、地震体験車による震度体験や避難場所・備蓄倉庫の確認を通じて、災害の備えや地域の支え合いの重要性を学びました。また、防災施設の視察では、阪神・淡路大震災の教

訓から、防災・減災には日頃からのつながりが欠かせないことを再認識しました。

特殊詐欺に関する研修では、巧妙化する手口や被害防止策を学び、日頃の声

かけや見守りの大切さを改めて確認しました。子どもの福祉に関する研修では、子育て家庭の現状や支援の必要性について理解を深め、地域全体で子どもを見守る意識の大切さを学びました。

さらに、「民生委員・児童委員は地域のつなぎ役である」という視点からの研修を通じて、困りごとを抱える方に寄り添い、関係機関へつなぐ役割の重要性を再認識しました。

これらの学びを通じて得た気づきを日々の活動に活かし、今後も地域の身近な相談相手として、一人ひとりに寄り添いながら安心して暮らせる地域づくりに努めてまいります。

学びを通じて改めて感じたのは、支援を必要とする方々を見守るうえで、日頃からの声かけや地域のつながりが何より大切だということです。困った



京都市市民防災センター視察

ときに気軽に相談できる関係があれば、不安や孤立を防ぎ、必要な支援へとつなげることが出来ます。

これからも地域の皆さまとのつながりを大切にしながら、一人ひとりに寄り添い、誰もが安心して暮らせる地域づくりに努めます。

やっぴん

民生委員・児童委員の活動は、地域住民の皆さまの理解と協力によって支えられています。今後も、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、一人ひとりに寄り添った活動を続けてまいります。



女性に対する暴力をなくす運動啓発活動（オークワ養老店）

「女性に対する暴力をなくす運動」の普及啓発活動を町内3か所のスーパーで実施しました。買い物に訪れた方へ啓発物品を配布し、DVや暴力のない社会づくりへの理解と協力を呼びかけました。